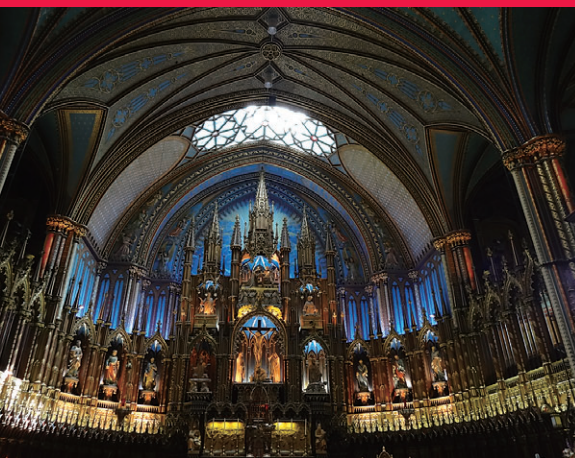




# 世界の地域から

## モントリオール（カナダ）



1829年に建てられたネオ・ゴシック様式の重厚なノートルダム大聖堂は、建物内部の正面に柔らかなコバルトブルーのライトに照らされて浮かび上がる黄金の祭壇があります。バラ窓と美しいステンドグラスから差し込む光が教会内部を照らし出します。



セントローレンス川沿いに位置するカナダ第2の都市モントリオールは、パリに次ぐ世界で2番目に大きいフランス語圏の都市です。1642年にフランス人ポール・ド・ショメディ・メゾンヌーブが現在の旧市街に建設したヴィル・マリーという村がこの街の始まりと言われています。18世紀半ばに「アブラハム平原の戦い」でフランスがイギリスに敗北すると支配権もイギリス系へと移りました。しかし人口の3分の2を占めるフランス系カナダ人たちはその後も自分たちの文化を守って暮らし、街なかにはフランス語の看板や石造りの住宅や教会、ヨーロッパ調の石畳の旧市街の街並みなどからフランス文化の薫り高い異国的な雰囲気が漂います。広島市の姉妹都市にもなっています（1998年姉妹都市提携）。

= CLAIRメルマガ読者募集中！ =

観光、物産、交通、IT、環境など海外お役立ち情報満載のメールマガジンを好評配信中  
右の二次元バーコード、または“CLAIRメルマガ”で検索、登録をお願いします







### 旧港沿いの遊歩道

旧港は、セントローレンス川沿いに約2.5kmにわたって広がっています。ジャック・カルティエ橋を望むことのできる旧港沿いの遊歩道ではサイクリングやジョギングを楽しむ人で賑わっています。



### 旧港のランドマークである銀のドーム屋根

1845年に建造されたネオ・クラシック様式の建物。その昔、港に入る船の目印になっていたと言われていました。市庁舎やパブリックマーケット、連邦政府議会場など時代ごとに役割を変え、現在は、カナダの工芸品や特産物を販売する民芸品店となっています。



### カルティエ・ラタン

ダウンタウンの北東に位置するフランス系大学のケベック大学モントリオール校(旧モントリオール大学)周辺には学生たちが集まる“カルティエ・ラタン”と呼ばれる一帯があります。おしゃれなカフェやレストラン、ギャラリーなどが並び、若者たちが夜遅くまで賑わっています。

### モントリオール市庁舎

モントリオールの市庁舎は、1878年に建築されたバロック調の建物です。1922年の火災によって大部分が焼失しましたが、1926年に修復され、現在に至ります。内部は、大理石でできた壁や床、シャンデリア、彫刻などで飾られています。



### モン・ロワイヤル公園展望台からの眺め

標高232mの小高い丘モン・ロワイヤルに広がる公園の展望台からはダウンタウンの全景が望めます。



### 旧裁判所

ジャック・カルティエ広場の向かいに建つ旧裁判所。隣にはもう一つの旧裁判所と現裁判所が並んで建っています。